

ごあいさつ

御用邸のあるまち那須町

那須町長 平山 幸宏



那須町は、昭和天皇がこよなく愛され、今上天皇や他の皇室の方々が頻繁にご静養に訪れている那須御用邸のあるまちです。

ロイヤルリゾート那須として広く知られており、壮麗な那須連山の麓に、歴史ある那須温泉郷をはじめ、豊かな自然と調和したレジャー施設やリゾートホテル、別荘地など充実した観

光資源とともに、お客様を迎えてまいりました。

また、町の南東部では、四季折々の花々に彩られた美しい田園風景や史跡など、趣の異なる那須を感じることが出来ます。

本要覧では、何度訪れても飽きることのない雅趣に富んだまち「那須町」のさらなる魅力をお伝えいたします。

観光

Tourism

那須温泉

県内最古の温泉「鹿の湯」の源泉発見後、次々と温泉が発見され、現在那須温泉郷には八つの温泉地があります。これを那須八湯（那須・大丸・弁天・北・三斗・小屋・八幡・高雄・新那須）といい、それぞれ効能・泉質が異なるため、湯めぐりが楽しめます。近くには温泉街や史跡などがあり、「観光地那須」として多くの方々に親しまれています。



恋人の聖地

平成22年6月に100番目の「恋人の聖地」に認定された那須高原展望台は、晴れた日には関東平野、筑波山などを一望することが出来ます。ここから見える夜景にはロマンチックな言い伝えもあります。



堂の下の岩観音

通称「堂の下の岩観音」と呼ばれている観音堂は、古くから観音信仰の霊場であり、背後の岩肌には観音像が彫られていたといえます。お堂の周辺には300年を超えるエドヒガンやソメイヨシノの巨木が人々を魅了します。平成2年には町指定名勝に指定され、特に桜の時期はライトアップにより、幻想的な雰囲気醸成されています。

